NIE実践報告

1．タイトル：生徒の新聞を活用した主体的な学習活動

2．学校名

大分県立日田三隈高等学校

3．実践者名（代表者名）

宮脇　和孝

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間(181人)･補習(5人)

6．単元（本時の学習課題）名

総合的な学習の時間及び補習全般において

7．目標(狙い)

(1)必要な記事を選択し、調べる力を身に付ける。(2)読み取った情報をまとめる力を身に付ける。(3)自分の意見を発表する力を身に付ける。

8．評価の視点

(1)記事の内容を理解できているか
(2)記事に対する自分の意見をわかりやすくまとめ、発表することができているか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間については、3年生全員を対象に3年生進学希望者を対象に、９月から毎週火･木曜日放課後2時間程度を当て、新聞記事をまとめる作業や、記事についての討論

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

本校では、新聞6紙を職員室前に配置し、生徒がいつでも自由に利用することができるようにした。
総合的な学習の時間について:生徒の個別テーマ研究の資料として新聞を利用する(必要に応じて)
補習について:4年制大学進学希望者を対象に、小論文およびディベート対策の材料として利用する(15時間)
　また、新聞を活用する際の留意点として「新聞をただ読むだけ」ではなく、読み取った情報から「考える力」やその情報を「活用する力」を意識させるような指導を行う。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

　政治経済から医療介護に関する話題、環境問題や身近な話題まで幅広く知ることができた。また、それぞれの原因や影響･背景等を知ることができた。

12．成果と課題

　放課後の補習において、環境に良い車がブームとの記事に関する討論では、生徒から「一斉に買い替える流れが広がれば、今ある車が相次いで廃車になる。環境にはむしろ悪影響なのではないか」といった疑問が出た。
　その際も生徒たちは宿題として新聞の社説や記事を読み比べ、自分なりの意見を出し合うことができた。新聞は物事の背景やデータを自分のペースで理解しながら、情報を整理する力を養う一助になると考える。